

議案第11号

平成29年度 山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算（第1回）について

地方自治法第218条第1項の規定により山陽小野田市工業用水道事業会計予算を別冊のとおり補正する。

平成30年2月19日 提出

山口県山陽小野田市長 藤田剛二

平成 29 年度

山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算(第 1 回)

平成29年度 山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算(第1回)

(総則)

第1条 平成29年度山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算(第1回)は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 平成29年度山陽小野田市工業用水道事業会計予算(以下「予算」という。)第2条に定めた業務の予定量を、次のとおり補正する。

(項目)	(既決予定量)	(補正予定量)	(計)
(1) 年間工業用水配水量	9,015,500 m ³	0 m ³	9,015,500 m ³
(内訳)			
日産化学工業(株)	2,007,500 m ³	182,500 m ³	2,190,000 m ³
田辺三菱製薬工場(株)	5,256,000 m ³	△182,500 m ³	5,073,500 m ³
西部石油(株)	1,752,000 m ³	0 m ³	1,752,000 m ³
(2) 主要な建設改良事業			
送水施設改良事業	30,240 千円	△5,677 千円	24,563 千円

(収益的収入及び支出)

第3条 予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を、次のとおり補正する。

(科目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
収 入			
第1款 工業用水道事業収益	297,742 千円	333 千円	298,075 千円
第1項 営業収益	291,539 千円	132 千円	291,671 千円
第2項 営業外収益	6,203 千円	201 千円	6,404 千円
支 出			
第1款 工業用水道事業費用	278,180 千円	△11,554 千円	266,626 千円
第1項 営業費用	262,246 千円	△12,871 千円	249,375 千円
第2項 営業外費用	12,934 千円	1,317 千円	14,251 千円
第3項 予備費	3,000 千円	0 千円	3,000 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 予算第4条本文括弧書を「資本的収入額と資本的支出額の差額は16,458千円であるが、収入の長期貸付金償還金66,000千円は平成19年度決算において措置した額の一部が償還されたものである為、収入が他にないことから支出額全額が補てんすべき額となる。よって49,542千円の補てんとして当年度分消費税資本的収支調整額1,868千円、当年度分損益勘定留保資金31,391千円及び減債積立金16,283千円で補てんするものとする。」に改め、次のとおり補正する。

(科目)		(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
収 入				
第1款	資本的収入	66,000 千円	0 千円	66,000 千円
第1項	長期貸付金償還金	66,000 千円	0 千円	66,000 千円
支 出				
第1款	資本的支出	55,219 千円	△5,677 千円	49,542 千円
第1項	建設改良費	33,240 千円	△5,677 千円	27,563 千円
第2項	償還金	21,979 千円	0 千円	21,979 千円

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第 5条 予算第6条に定めた金額を、次のとおり補正する。

(科目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
(1) 職員給与費	86,500 千円	△1,681 千円	84,819 千円

平成30年2月19日 提出

山口県山陽小野田市長 藤田剛二

予算に関する説明書

予算に関する説明書 注記表
当年度補正予算(第1回) 実施計画
当年度予定キャッシュ・フロー計算書
給与費明細書
当年度予定損益計算書 (参考資料)
当年度予定貸借対照表
収益的収支明細書 (参考資料)
資本的収支明細書 (参考資料)

予算に関する説明書 注記表

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

平成26年度より、改定後の地方公営企業会計基準を適用して会計処理を行い、財務諸表等を作成している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。ただし、量水器は取替法による。

(2) 有価証券の評価基準

移動平均法による原価法によっている。

(3) 各引当金の計上方法

ア 退職給付引当金の所要額は簡便法で算出している。なお、各会計間の退職給付費の負担割合は以下のとおり。

水道事業会計 と 工業用水道事業会計	期末職員数按分
水道及び工業用水道事業会計 と その他の会計	双方に在職実績がある場合、該当職員の退職時点の各在籍年数按分

イ 賞与引当金は、当年度末における支給見込額(法定福利費を含む)を算出し、年度区分に従って費用処理する。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

2 予定キャッシュ・フロー計算書に関する注記

予定キャッシュ・フロー計算書は間接法により作成している。重要な非資金取引はない。

3 リース資産に関する注記

リース資産に計上しなければならない契約はない。

ただし、所有権移転外ファイナンス・リース契約は、中小規模の公営企業の特例により、通常賃貸借取引に準じた会計処理とする。

平成29年度山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算（第1回）実施計画

収益的収入及び支出
収入

(税込額 単位:千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1	工業用水道事業	収益	297,742	333	298,075	
	1	営業収益	291,539	132	291,671	
		1 給水収益	291,499	132	291,631	
		2 その他営業収益	40		40	
	2	営業外収益	6,203	201	6,404	
		1 受取利息	2,023	248	2,271	
		2 長期前受金戻入	3,913		3,913	
		3 雑収益	267	△ 47	220	

支出

(税込額 単位:千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1	工業用水道事業	費用	278,180	△ 11,554	266,626	
	1	営業費用	262,246	△ 12,871	249,375	
		1 原水及び配水費	190,940	△ 11,847	179,093	引当金繰入 (賞与 4,583)
		2 総係費	39,915	△ 1,024	38,891	(賞与 2,497) (退職給付 1,027)
		3 減価償却費	30,391		30,391	
		4 資産減耗費	1,000		1,000	
	2	営業外費用	12,934	1,317	14,251	
		1 支払利息	4,159		4,159	企業債償還利息
		2 消費税	8,775	1,317	10,092	
	3	予備費	3,000		3,000	
		1 予備費	3,000		3,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出
収 入

(税込額 単位:千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1	資本的收入		66,000		66,000	
	1	長期貸付金償還金	66,000		66,000	
		1 他会計貸付金償還金	66,000		66,000	(病院会計)

支 出

(税込額 単位:千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1	資本の支出		55,219	△ 5,677	49,542	
	1	建設改良費	33,240	△ 5,677	27,563	
		1 送水施設費	30,240	△ 5,677	24,563	
		2 営業設備費	3,000		3,000	
	2	償還金	21,979		21,979	
		1 償還金	21,979		21,979	企業債償還元金

平成29年度山陽小野田市工業用水道事業予定キャッシュ・フロー計算書
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	29,683
減価償却費	30,391
長期前受金戻入額	△ 3,913
受取利息及び受取配当金	△ 2,271
支払利息	4,159
有形固定資産除却損	1,000
未払金の増減額	△ 1,215
引当金の増加額	1,215
小計	59,049
利息及び配当金の受取額	2,271
利息の支払額	△ 4,159
業務活動によるキャッシュ・フロー	57,161
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 25,695
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 25,695
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
企業債の償還による支出	△ 21,979
一般会計又は他の特別会計からの償還金	66,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	44,021
資金増加額(又は減少額)	75,487
資金期首残高	448,137
資金期末残高	523,624

給 与 費 明 細 書

1 総括

区分	職員数		給与費					法定	合計
	特別職 (人)	一般職 (人)	報酬 (千円)	給料 (千円)	手当 (千円)	賃金 (千円)	計 (千円)	福利費 (千円)	
補正後	損益勘定 支弁職員	9		43,659	26,509		70,168	14,651	84,819
	資本勘定 支弁職員								
	合計	9		43,659	26,509		70,168	14,651	84,819
補正前	損益勘定 支弁職員	9		43,653	28,445		72,098	14,402	86,500
	資本勘定 支弁職員								
	合計	9		43,653	28,445		72,098	14,402	86,500
比較	損益勘定 支弁職員			6	△1,936		△1,930	249	△1,681
	資本勘定 支弁職員								
	合計			6	△1,936		△1,930	249	△1,681

区分	扶養	住居	通勤	管理職	夜間勤務	時間外 勤務	管理職 特別勤務	児童
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
補正後	1,062	300	708	2,020	1,129	204	10	40
補正前	1,062	300	693	2,048	1,104	118	60	40
比較			15	△28	25	86	△50	
区分	外勤	集金	危険	電気技術 主任	交替制 勤務	緊急呼出	期末勤勉	退職 給付費
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
補正後	22		15		287	21	18,603	2,088
補正前	24		11		257	60	18,039	4,629
比較	△2		4		30	△39	564	△2,541

2 給料及び手当の増減額の明細

区分	増減額 (千円)	増減事由別内訳 (千円)	説明	備考
給料	6	給与改定に伴う増減分	給与改定率	0.01%
手当	△1,936	制度改正に伴う増減分	564	期末勤勉手当
		制度改正に伴う増減分	△2,651	退職給付費
		その他の増減分	151	異動等による増減分

3 給料及び手当の状況

(1) 初任給

区分	補正後		補正前	
	企業職 (円)	一般会計の制度	企業職 (円)	一般会計の制度
		一般行政職 (円)		一般行政職 (円)
高校卒	151,500	151,500	150,500	150,500
大学卒	185,800	185,800	184,800	184,800

(2) 昇給

区分	補正後		補正前	
	合計	企業職	合計	企業職
職員数 (A) (人)	9	9	9	9
昇給に係る職員数 (B) (人)	7	7	7	7
号給数内訳	1号給 (人)	1		
	4号給 (人)	6	7	7
比率 (B) / (A) (%)	77.8	77.8	77.8	77.8

(3) 特殊勤務手当

区分	補正後	補正前
	事務・技術	事務・技術
給料総額に対する比率 (%)	0.8	0.8
支給対象職員の比率 (%)	66.7	66.7
支給対象職員の1人当たり平均支給月額 (円)	4,792	4,889
代表的な特殊勤務手当の名称	交替制勤務手当、危険手当、外勤手当等	

(4) 期末手当・勤勉手当

区分	支給期別支給率		支給率計 (月分)	職制上の段階、職務の級等による加算措置	備考
	6月(月分)	12月(月分)			
補正後	本年度	2.075	2.325	4.40	有
	前年度	2.025	2.275	4.30	有
	一般会計の制度	2.075	2.325	4.40	有
補正前	本年度	2.075	2.225	4.30	有
	前年度	2.025	2.175	4.20	有
	一般会計の制度	2.075	2.225	4.30	有

(5) 定年退職及び定年前早期退職に係る退職手当

区分	20年勤続の者 (月分)	25年勤続の者 (月分)	35年勤続の者 (月分)	最高限度 (月分)	その他の加算措置等	
補正後	支給率等	24.586875	33.27075	47.709	47.709	早期退職者 2%~45%加算
	一般会計の制度 (支給率等)	同上	同上	同上	同上	同上
補正前	支給率等	25.55625	34.5825	49.59	49.59	早期退職者 2%~45%加算
	一般会計の制度 (支給率等)	同上	同上	同上	同上	同上

平成29年度 山陽小野田市工業用水道事業予定損益計算書
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:千円)

1	営業収益			
	(1) 給水収益	270,029		
	(2) その他営業収益	40	270,069	
2	営業費用			
	(1) 原水及び配水費	169,924		
	(2) 総係費	38,300		
	(3) 減価償却費	30,391		
	(4) 資産減耗費	1,000	239,615	
	営業利益			30,454
3	営業外収益			
	(1) 受取利息	2,271		
	(2) 長期前受金戻入	3,913		
	(3) 雑収益	204	6,388	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息	4,159	4,159	2,229
	経常利益			32,683
5	予備費			
	(1) 予備費	3,000	3,000	△ 3,000
	当年度純利益			29,683
	前年度繰越利益剰余金			0
	その他未処分利益剰余金変動額			16,283
	当年度未処分利益剰余金			45,966

平成29年度 山陽小野田市工業用水道事業予定貸借対照表

(平成30年3月31日)

(単位:千円)

	資	産	の	
				部
1 固定資産				
(1) 有形固定資産				
ア 土地			66,007	
イ 建物	84,426			
減価償却累計額	<u>△46,352</u>		38,074	
ウ 構築物	1,284,178			
減価償却累計額	<u>△592,850</u>		691,328	
エ 機械及び装置	392,686			
減価償却累計額	<u>△342,911</u>		49,775	
オ 車輛運搬具	2,602			
減価償却累計額	<u>△1,911</u>		691	
カ 工具・器具及び備品	5,271			
減価償却累計額	<u>△4,221</u>		1,050	
キ 建設仮勘定			<u>2,362</u>	
有形固定資産合計				849,287
(2) 無形固定資産				
ア 電話加入権			<u>22</u>	
無形固定資産合計				22
(3) 投資その他資産				
ア 長期貸付金			<u>264,000</u>	
投資その他資産合計				<u>264,000</u>
固定資産合計				1,113,309
2 流動資産				
(1) 現金・預金			523,624	
(2) 未収金			注① 24,781	
(3) 前払費用			<u>12</u>	
流動資産合計				<u>548,417</u>
資産合計				<u><u>1,661,726</u></u>

注① 未収金には、3月調定分水道料金の全額 24,768千円を含む。

注② 当年度6月期末勤勉手当(法定福利費を含む)を支給するため、賞与引当金6,892千円を取り崩した。

注③ 当年度未処分利益剰余金には、現金の裏付けのない利益20,196千円を含む。
(長期前受金戻入益相当額及び補てん財源使用済積立金取崩額)

負 債 の 部

3	固定負債		
	(1) 企業債	162,986	
	(2) 引当金		
	ア 退職給付引当金	79,161	
	イ 修繕引当金	<u>113,488</u>	
	引当金合計	<u>192,649</u>	
	固定負債合計		355,635
4	流動負債		
	(1) 企業債	22,460	
	(2) 未払金	46,310	
	(3) 賞与引当金	注② 7,080	
	(4) その他流動負債	<u>350</u>	
	流動負債合計		76,200
5	繰延収益		
	(1) 長期前受金	325,012	
	(2) 収益化累計額	<u>△219,499</u>	
	繰延収益合計		<u>105,513</u>
	負債合計		537,348

資 本 の 部

6	資本金		
			447,682
7	剰余金		
	(1) 資本剰余金		
	ア 受贈財産評価額	1,985	
	イ 工事負担金	72,133	
	ウ その他資本剰余金	<u>16,354</u>	
	資本剰余金合計	90,472	
	(2) 利益剰余金		
	ア 利益積立金	18,000	
	イ 減債積立金	153,115	
	ウ 建設改良積立金	342,143	
	エ 水源涵養林整備積立金	27,000	
	オ 当年度未処分利益剰余金	注③ <u>45,966</u>	
	利益剰余金合計	<u>586,224</u>	
	剰余金合計		<u>676,696</u>
	資本合計		<u>1,124,378</u>
	負債資本合計		<u><u>1,661,726</u></u>

収益の収支明細書

収 入

(税込額 単位:千円)

款	項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	附記(主な増減理由)
工業用水道事業収益				297,742	333	298,075	
営業収益				291,539	132	291,671	
給水収益				291,499	132	291,631	
水道料金				291,499	132	291,631	日産化学工業(71,310) 田辺三菱製薬工場(161,532) 西部石油(58,789)
営業外収益				6,203	201	6,404	
受取利息				2,023	248	2,271	
預金利息				703	248	951	
雑収益				267	△ 47	220	
その他雑収益				267	△ 47	220	

支 出

(税込額 単位:千円)

款	項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	附記(主な増減理由)
工業用水道事業費用				278,180	△ 11,554	266,626	
営業費用				262,246	△ 12,871	249,375	
原水及び配水費				190,940	△ 11,847	179,093	
手当				11,802	366	12,168	次年度6月期末勤勉手当支給原資(12~3月発生分)
賞与引当金繰入額				4,486	97	4,583	
法定福利費				8,799	129	8,928	
備用品費				324	△ 216	108	
委託料				1,590	△ 402	1,188	
修繕費				4,752	△ 1,301	3,451	
動力費				47,126	△ 5,524	41,602	浄水場電気料金
負担金				23,000	△ 4,996	18,004	厚東川ダム負担金

款	項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	附記(主な増減理由)
			総係費	39,915	△ 1,024	38,891	
			給料	14,777	6	14,783	
			手当	6,235	97	6,332	
			賞与引当金繰入額	2,420	77	2,497	次年度6月期末勤勉手当支給原資(12~3月発生分)
			法定福利費	4,476	88	4,564	
			退職給付費	4,629	△ 2,541	2,088	退職1名 1,061(上・工水按分)引当金繰入 1,027
			旅費	324	△ 162	162	
			修繕費	756	△ 540	216	
			負担金	700	2,451	3,151	上水共用設備
			用地管理費	726	△ 500	226	
			営業外費用	12,934	1,317	14,251	
			消費税	8,775	1,317	10,092	
			消費税	8,775	1,317	10,092	控除対象課税仕入の減

資本的収支明細書

収 入

(税込額 単位:千円)

款	項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	附記(主な増減理由)
			資本的收入	66,000	0	66,000	

支 出

(税込額 単位:千円)

款	項	目	節	既決予定額	補正予算額	計	附記(主な増減理由)
			資本的支出	55,219	△ 5,677	49,542	
			建設改良費	33,240	△ 5,677	27,563	
			送水施設費	30,240	△ 5,677	24,563	
			送水施設改良事業費	30,240	△ 5,677	24,563	入札減、工法変更